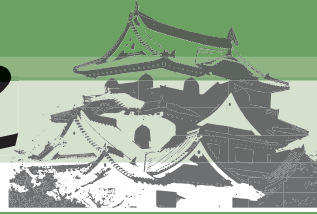


ここまで来た!

彦根城を世界遺産に

「城」のあるまちから「世界遺産」のあるまちへ



世界遺産とはなにが

世界遺産は、世界遺産条約にもとづいてユネスコの世界遺産委員会で決定される、世界の誰もが認める固有の価値があると認定された文化財や自然です。



彦根城の世界遺産登録のための条件

- 価値** 価値証明ができています。
- 保存** 保存管理の制度や体制が整備されています。
- 活用** 世界遺産を活かしたまちづくりの取組ができています。

価値 彦根城の顕著な普遍的価値 (Outstanding Universal Value)

徳川幕府は、社会を安定させるため、幕府の権威の下、それまで土地争いを繰り返していた地域の領主たちを領地から引き離して地域に唯一の城郭に集住させ、城主を中心とする合議政治を行わせることで2世紀半の平和維持を成し遂げました。このような政治形態は、世界史的にも類を見ない江戸時代の日本に特有な文化的伝統でした。彦根城は、様々な遺構が良く残り、それを一つの資産で物語るすることができます。

世界史的に極めて特徴的な日本の江戸時代の政治の在り方を伝承し、現代にそれを物語る

①**建造物や遺構の集合体**と②**景観**を代表する顕著な見本。

※姫路城の価値は、木造城郭建築の傑作であり、17世紀初頭の日本の木造城郭建築の特徴をよく示すという建造物としての価値

ココがスゴイ!

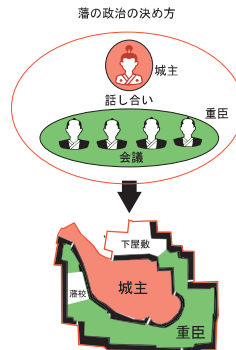
二世紀半の「徳川の平和」を一つの資産で物語ることができる城郭

彦根城の価値を示すもの (特性: Attribute)

① 建造物や遺構の集合体

周辺から隔離された集約的配置計画

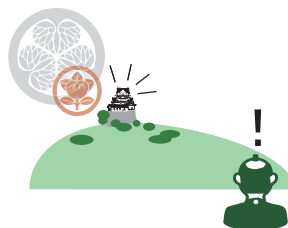
城郭の中心に城主の御殿と重臣屋敷が集められ、そこで合議政治が行われるとともに、城主と家臣の主従関係を維持し、統治理念を共有するための儀礼が行われました。この空間は、堀などで周辺から隔てられていました。



② 景観

象徴的な形態

地方政府を構成する天守や櫓、門や塀、石垣などは、その地方政府の権威の背景に中央政府という統一政権の権威があることを示し、領民に安心感を与えていました。

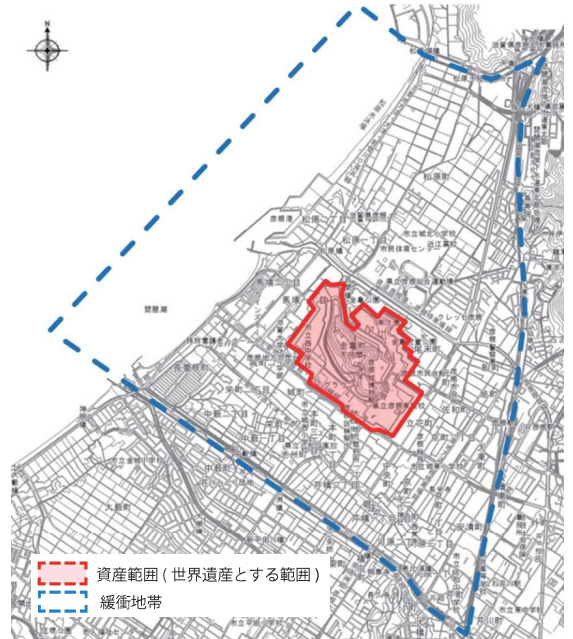


保存

彦根城の価値を守るための保存管理の制度

資産範囲は、文化財保護法で定める特別史跡あるいは市の文化財保護条例で定める環境保全地域として、保護・管理を行っています。

緩衝地帯は、城下町を中心として設定しています。世界遺産としては、琵琶湖岸や旧内湖の範囲を含めて緩衝地帯とし、資産周辺の環境を保全する必要があります。彦根市ではこれまで、都市計画法、景観法、屋外広告物法などにより、彦根城と調和した歴史的な景観を守り、市民の生活と共存した歴史都市の環境を形成していくための計画や規制のしくみを整備してきました。さらに、現在は、緩衝地帯として十分なものとなるよう計画・規制の見直しを進めています。



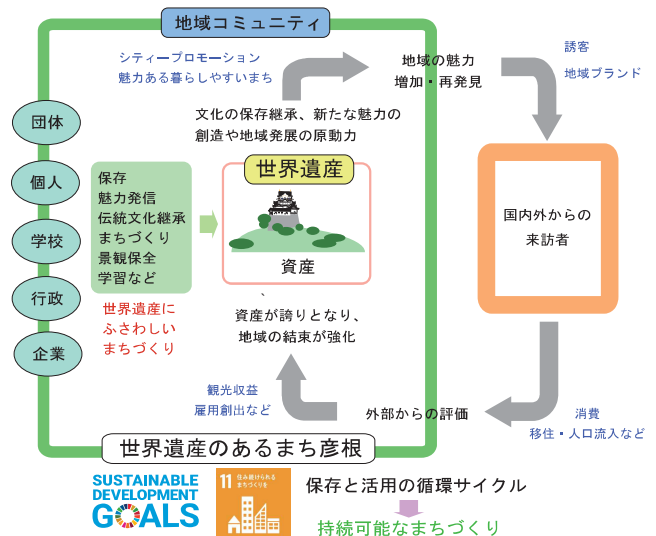
活用

彦根城の価値を活かした持続可能なまちづくり

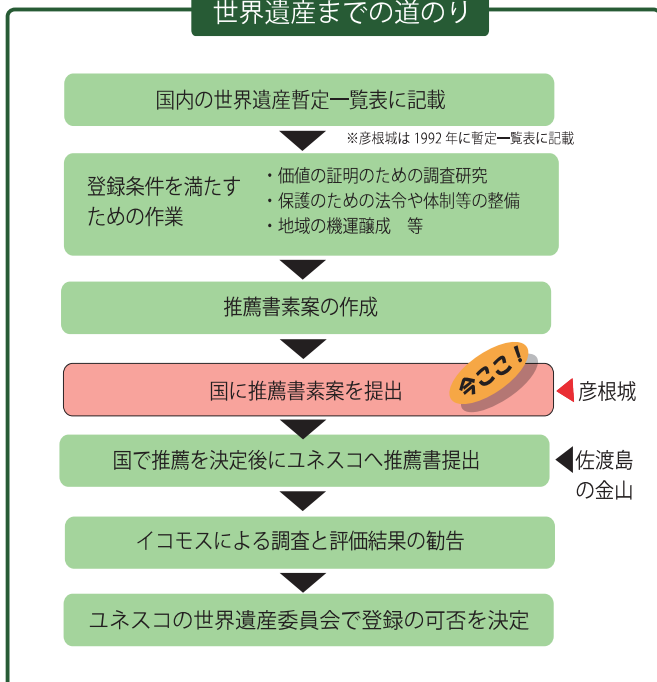
彦根城は、これまでも地域のシンボルとして市民の誇りとなってきました。

彦根城が世界遺産の登録されることで、「世界遺産」を地域のブランディングに活用した新たな観光戦略により持続的で来訪者にも住民にも望ましい観光を実現することができます。さらに、地域経済が活性化することで雇用創出や交流・定住人口の獲得等により人口減少・少子高齢化といった地域課題の解決が期待できます。

このように、新たな投資を必要としない彦根城をはじめとする歴史的資産や伝統文化を有効に活用することが持続可能なまちづくりにつながります。



世界遺産までの道のり



もっと知りたい方は

こちらのサイトや動画をご覧ください。

彦根城世界遺産登録推進協議会公式サイト
「おして！世界遺産へ彦根城」
<https://www.hikonejo-worldheritage.jp/>

世界遺産セミナー動画
「ここまで来た 彦根城の世界遺産登録」
<https://www.youtube.com/watch?v=NuaiOivMfsg>

世界遺産セミナー動画
「持続可能なまちづくり」
<https://www.youtube.com/watch?v=ICsm29r0kUg>

